

社会福祉法人十和会 令和3年度事業報告

法人全体

- ① 今年度に於いても特別養護老人ホーム豊川の郷及びサービス付き高齢者住宅なごみの里の面会は正面玄関にて行いました。
- ② 施設内研修は感染対策を行った上で実行しました。尚、施設外研修はオンライン等も含め研修に参加しました。但し、後半に於いては職員等の感染者が発生したため、参加型の研修を行いませんでした。
- ③ コロナ感染症についてはショートステイ利用者1名、職員10名（家族内感染含む）程度陽性者が出ました。
- ④ ボランティアの受け入れについても今年度は感染対策のため行っていません。

特別養護老人ホーム

① 稼働率 88.5%

令和3年度は稼働率が前年度から5ポイント以上低下し、目標稼働率(93%)にも到達しなかった。原因として、面接を行うが体調悪化にて入居出来なかったり、面接の日程調整中に体調を崩し面接も行えないケースもあったが、退所者の予測が甘く入所に至る時間が長くなってしまった。今後は上記内容を踏まえ入所面接を行っていく。

② 機能訓練

・新入所時、3ヶ月毎の見直し時と病院からの退院時に、各入所者様の評価をし、プログラムを決めて週1回実施してケース記録に実施記録を記入。週1回以上実施が必要な方は、脳卒中片麻痺や寝たきりで拘縮の強い方、進行性の疾患の方、骨折後の退院で集中してリハビリの必要な場合など、評価した結果で判断し、できる範囲で週2回実施した。

・機能訓練実施中の状態を必要な場合に随時、Ns.やCWに報告・相談した。体調不良（熱発、血圧の高低、脈拍の様子、強い痛み、嘔吐、転倒など）を考慮し、中止の場合があった。また、Ns.に相談し、Dr.に伺ってもらった場合もあった。

・書類作成

リハビリテーション評価表：新入所・退院時に心身状態の評価を実施し評価表作成。

機能訓練実施計画書

・機能訓練プログラムの内容

上下肢（及び体幹）のマッサージと関節可動域訓練、歩行訓練、個別コミュニケーション

③ 行事食について

・毎月の献立での行事食は、委託会社と協力しスムーズに行えたと思います。

・今年度もフロア単位での行事を実施するのが難しくできなかったため、にぎり寿司やお好み焼や天ぷらなど人気のある献立は通常の献立に取り入れることにより提供できました。

④ 食事業務全般について

- ・食事については委託会社と協力し、利用者様に提供できたと思います。
- ・特別なメニューについても早い段階で委託会社に相談することにより取り入れることができました。
- ・人気のあるメニューについては今後も定期的に献立に組みこみたいと思います。
- ・普通食の方だけでなく、極きざみやミキサーなど見た目ではわかりにくい形態の方でも美味しく食べていただけるような料理を提供したいと思います。
- ・日常の業務を見直し、フロアへ上がる時間を増やし栄養ケア・マネジメントもスムーズに行えるようにしたいと思います。
- ・外部の研修へ行けなかったので参加できるようにしたいと思います。
- ・衛生面に注意し安全に食事を提供できたと思います。

ショートステイ

① 稼働率 99.4%

(目標稼働率は達成しているが、特養の空床まではカバーできなかった。)

- ・新規の人や緊急で利用された人に定期的に利用してもらうよう働きかけ、一部の利用者には定期的に利用してもらっている。
- ・新型コロナウイルスの影響もあり、予定変更等があり予定が読めない事があった。

② 機能訓練

- ・新しいショートご利用者様、6ヶ月以上空いたご利用者様全員の評価を実施し、プログラムを決め、6ヶ月毎に見直した。
- ・2泊3日以上の方に一回実施。一週間以上の方、長期の方も週一回実施した。1泊2日の方は、できる限り時間がある時やリピート利用の時に1回実施した(現在はできる時は毎回1回実施している)。

デーサービスセンター

① 稼働率 67.0%

なごみの里以外の利用者が減少してしまった。このことを踏まえた上で今後は外部からの利用者の受け入れを強化する。

② 業務内容

- ・利用者に対し安心・安全にご利用いただいたと思う。
- ・スタッフ間の申し送りについては一部見直しを行っていく。

ケアプランセンター

① 稼働率 72.3%

- ・利用者数は入院者やサ高住の退去者が増えたことでやや減少した。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、在宅訪問を極力控え、電話やメールでのやり取りで対応した。
- ・オンラインでの研修や勉強会に参加し、知識、技術の向上に努めた。
- ・利用者、利用者家族、各事業所との連絡相談をこまめに行い、チームケアとしての信頼関係の向上に努めた。

ヘルパーステーション

① 登録者 40.25 人（月平均） 実利用者 38.6 人（月平均）

- ・利用者は全てなごみの里の入居者となっている。なごみの里の入居者の入院や退去で利用人数は微減となった。
- ・新型コロナウイルスにおいて感染予防を徹底し、健康管理に努めた。
- ・家族や関係機関との連携において、ケアマネージャーを通じ、連絡、報告をこまめに行うようにした。

なごみの里

稼働率 81.6%

- ・月に1～2人の新規入居者と同数程度の退去者があり、入居者数はほぼ横ばいで推移した。
- ・紹介会社からの見学者、申込者が少なくなったが、他施設や豊川の郷からの照会があり、迅速に対応した。
- ・医療機関との連携を密に行い、入居者の健康管理に留意し、異常の早期発見に努めた
- ・新型コロナウイルスの感染予防を徹底し、職員が陽性、濃厚接触等で出勤できない状況において、業務が継続できるように調整し、対応した。